

現役生はまだまだ伸びる 主に3年生の皆さんへ

2023年もあと10日ほどで終わろうとしています。学校推薦型選抜もひと段落。共通テストや私学の一般選抜が迫ってきました。寸暇を惜しんで机に向かう、本気の顔が増えてきています。

現役生の伸びは、11月以降です。最後の模試の判定は、1カ月半前の自分の姿。年内はもちろん、来年の1・2月の、現役生の学力の伸びには、眼を見張るものがあります。自分を信じて粘り抜いてください。



勝負はこれからです。どれだけ強い思いを持っているのか。気持ちの勝負です。

勝つために、何をすればいいのでしょうか。自分をごまかさずに、余計なことを考えずに、自分のすべきことをがむしゃらにやり抜くことが必要です。

学校の授業中心の学習スタイルを継続させて、最後まで粘り抜いてください。

困ったことがあったら、学校の先生に相談してください。進路のことでも、教科内容や、勉強方法などについても、その他どんなことでも、アドバイスがもらえるはずですよ。

また、よく言われることですが、「**受験は団体戦**」です。進路が決まっている人も、これから決めていく人も、お互いが、周りの人たちの前向きな姿勢を尊重して、支えあえる良い雰囲気を保っていくことを、願ってやみません。

すでに進路を決めている人は、残りの高校生活を大切に送ってください。 目標は、将来の自分の進路の実現ですね。今手にしている「合格」は、その出発点に過ぎないのですから。



高校生活もあと1年 主に2年生の皆さんへ

進路実現のための、残された時間が短くなってきました。

企業や公務員への就職を考えている人対象の「就職希望者集会」も、開かれました。

大学・短大・専門学校への進学を考える皆さん、本気で自分の志望校や、志望学部・学科を考えていますか。

進学希望者に対して、どの先生も言われることは、次のフレーズです。

基礎固めは、高校3年の夏休み、8月の終わりまで。

基礎が固まっていると、応用力はグングン伸びていきます。逆に、基礎を固めずに、問題集をいくら解いても結局は無駄になります。中途半端な学力では、応用力は付いていかないからです。

現時点で、その**基礎固めのために残された時間は、9カ月しかない**のです。

スタートは「今」しかないのです。このようなデータもあります。

**合格者の7割が、2年の秋に本気で勉強をスタート。
不合格者の7割が、3年に入ってからのスタート。**

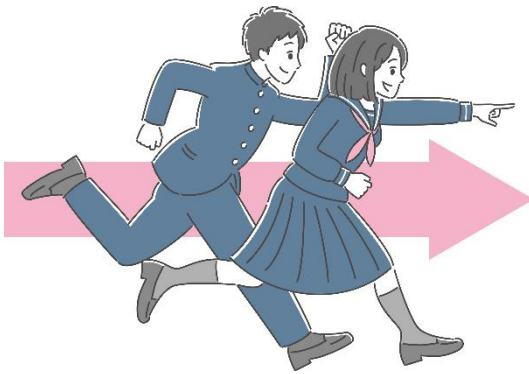
やるべきことを、**一覧表にして、具体的に書きだしてみましょ**う。そうすると、伸ばしていくべき自分の得意な所と、手当てをすべき自分の苦手な所が、見えてくるのではないのでしょうか。この時期に、やるべきことは、ごまかさず、今の自分と直面することです。

そうすると、やるべきことがたくさんあることが分かります。本当に時間がないことがわかります。

自分の今の力を伸ばすためには、何時間必要で、それをどこで、何を使って作り出すのか。具体的に、自分が今立っている場所を確認してください。「なんとなく足りないところがあるな」ではダメです。自分の姿と、正直に向き合ってください。

足りない点を、書きだしたら、それを、計画を立ててやってみましょう。そうすると、自分が出ることがどれだけ少ないかが分かるはず。そうやって、自分が出ることがどれだけ少ないかが分かると、自分の毎日の生活が変わっていくはず。

小テストでの勉強は、自分の身に付いていますか？
週末課題への取り組みは、自分の力になっていますか？
授業中や、予習や復習への取り組みは、どんな感じですか？
自分の今の勉強は、入試当日に使えるものになっていますか？



自分が今、どの勉強をしているのかは、やっている自分自身には、よく分かっているはず。

目の前にあることの見直し、予習・授業・復習のサイクルを確立すること。それ以外に、何か他にすべき特別なことがあるわけではありません。

年が明けると、**高校3年生の0学期が始まります**。
いいスタートを切ってください。



一つめの天王山の戦い 主に1年生の皆さんへ

高校時代には、進路実現のための、決戦の「天王山」が、いくつかあります。1年生にとって、その一つ目の「天王山」が終わりつつあります。

高校1年生の「天王山」は、この**2学期までに、高校生としての学習習慣、生活習慣が身についているかどうか**です。

毎日の学習に丁寧に取り組むこと、そのことが、そのまま進路実現のための取り組みとなります。具体的なことは、「**主に2年生の皆さんへ**」の所を参照してください。来年の3月には、「1回戦」が終わります。いい取り組みを積み重ねていってください

